

北海道・冬の対策パッケージ【概要版】

平成30年11月 北海道

1 基本的な考え方

北海道胆振東部地震に伴う大規模停電により、道民の暮らしや産業活動は重大な影響を受けたところ。道内では、道民や企業の皆様が一丸となって震災からの復興に取り組んでいるところであり、道内経済の活性化に向けた動きにも配慮しながら、国の電力需給対策を踏まえつつ、「今冬の電力需給対策」を定めるとともに、今回の地震による大規模停電を教訓に、非常時の対応や備えについても準備をし、これらを「北海道・冬の対策パッケージ」として取りまとめ、北海道が一丸となって、この冬に向けた対策に取り組んでいくこととする。

2 今冬の電力需給対策

(1) 国における今冬の電力需給対策

- ・全国共通の取組として、経済効果を高めることにつながる省エネキャンペーンなどを実施。
- ・加えて、北海道エリアについては、厳冬のため万が一の電力需給ひっ迫が生命・安全に関わる可能性があることなどの観点から、次の対策を実施（主なもの）。
 - 数値目標なしの節電要請
 - 北海道電力に対し、試運転中の石狩湾新港発電所1号機の活用の前倒しや、設備の保守・保全の強化等を要請 等

(2) 北海道電力による今冬の電力需給対策

- ・発電設備や送変電設備の保守・点検の強化
- ・「でんき予報」等による電力需給に関する情報発信 等

(3) 道における今冬の電力需給対策

道としては、国からの節電要請を踏まえ、さらなる経済の活性化に向けた取組を展開しながら、無理のない範囲で節電の取組を行っていく。

【道民への呼びかけ】

- ・道民、各界各層に対し、消費をしながら、節電にも結びつく取組を呼びかける「知事メッセージ」を发出。
- ・広く道民に対し、節電にもつながる消費の喚起を促す取組として、「『みんなで暖まろう！』応援キャンペーン」を実施。
- ・ブログ・ツイッターや、リーフレットの作成・配布等による各家庭等への呼びかけ。
- ・「ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーン 2018冬の陣」による省エネ行動の実践の呼びかけ。

【関係機関との連携】

- ・北電や産業団体、医療・福祉団体等で構成する北海道地域電力需給連絡会での情報提供・情報交換
- ・各総合振興局・振興局主催による地域における連絡会を活用した情報提供・情報交換
- ・北海道経済産業局、札幌市及び北電と連携した街頭節電キャンペーンの実施

【道が自ら行う取組】

- ・執務室内の減灯や昼休みの消灯、OA機器の待機電力の削減、エレベーターの一部停止や、暖房時の室温管理等のウォームビズの取組など、来庁者や職員に負担とならない範囲で節電に取り組む。

※このほか、停電発生時などへの対応と備えを記載するとともに、「大規模停電への備え」事例集を添付する。